

市民クラブ 会報

since 1983

2022年
新春号

市民クラブ会長 挨拶



私たち市民クラブは、新型コロナウイルス感染症の長期化により、経済や市民生活に甚大な影響が続く中、鈴木康友市長が掲げる「若者がチャレンジできるまち」「子育て世代を全力で応援するまち」「持続可能で創造性あふれるまち」の達成に向け、都市の将来像を市民協働で築く未来へかがやく創造都市を進めていきます。

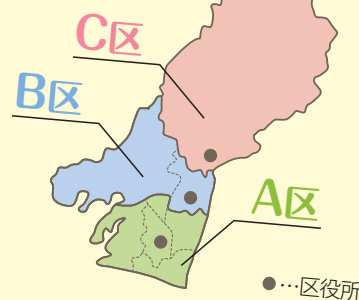
前例にとらわれることなく選択と集中を徹底し、中期財政計画に基づく持続可能な財政運営を確保しつつ、ウイズコロナの時代における「デュアルモード社会」に対応する施策を重点的に推進し、デジタルファーストの視点で活力に満ちた次代の浜松を創造していきます。

ものづくりのまち浜松の地域経済や社会を根底から支えている多くの市民の声・意見を、具体的な施策や予算に反映していきたいと考えています。

市民の収める税金が無駄なく効率的に使われ、安全・安心できる生活づくりの施策がさらに充実するよう市政運営を進めていきます。

市民クラブ会長 斉藤 晴明

行政区再編が 内定しました!



12月7日に開催された行財政改革・大都市制度調査特別委員会にて、浜松市の行政区は「3区」に内定。私たちは一貫してコスト削減面で一番優位な2区案を提唱してまいりましたが、3区で合意致しました。この新たな3区案の中で最大の効果が得られるよう、今後の議論に参加していきます。

安全・安心で活力ある浜松づくり

私たちは、希望あふれる浜松市の未来に向けて市域全体を見据え、生活の安全・安心と活力ある発展を目指し市民目線で取り組んでいきます!

市民クラブの重点政策(簡略版)

私たち市民クラブ一同は、次の項目を重点政策に掲げ浜松市政をよりよくすべく、活動しています。

- | | |
|--|--|
| <p>01 地域主権推進・創造性豊かなまちづくり・効率的な行政推進</p> <p>02 財政健全化・ムダ排除・自主財源確保・民間との役割分担見直しなどの行財政改革</p> <p>03 国際競争力のあるバランスのとれた産業振興の推進・雇用確保</p> <p>04 公共交通機関の充実など生活環境基盤整備推進</p> <p>05 多文化共生社会や男女共同参画社会の推進</p> <p>06 ユニバーサルデザインのまちづくり・少子高齢化時代に対応する福祉制度充実</p> | <p>07 省資源・省エネルギー型社会構築・ごみ減量や資源物リサイクル推進などの環境保護活動推進</p> <p>08 青少年健全育成のための学校制度改革や人づくり事業推進</p> <p>09 音楽、芸術、スポーツ、郷土芸能などの文化振興・参加機会拡大・施設充実</p> <p>10 すべての国との平和外交推進を支持</p> <p>11 自然災害に対するハード対策と、市民の防災意識を高めるソフト対策推進</p> |
|--|--|

全文はこちらをご参照ください▶



所属議員紹介



【会長】
さい どう はる あき
斉藤 晴明

期数
7期

中区

- 総務委員会
- 交通政策・大規模災害対策調査特別委員会



ひら ま よし あき
平間 良明

期数
3期

中区

- 環境経済委員会(副委員長)
- 大型公共施設建設調査特別委員会
- 浜松市社会福祉審議会委員
- 政務活動研究会



【幹事長】
いわ た く に やす
岩田 邦泰

期数
1期

西区

- 市民文教委員会(副委員長)
- 行財政改革・大都市制度調査特別委員会
- 浜名湖競艇企業団議会議員



すず き ま さ と
鈴木 真人

期数
1期

東区

- 建設消防委員会
- 交通政策・大規模災害対策調査特別委員会(委員長)
- 浜松市都市計画審議会委員



【政調会長】
きた の や ぶ く こ
北野谷 富子

期数
2期

浜北区

- 厚生保健委員会
- 地方創生調査特別委員会
- 議会運営委員会
- 浜松市職員懲戒審査委員会委員

私たちの活動をご紹介します

浜松市議会 市民クラブ

検索

<http://shimin-club.jp/>



令和4年度の市政運営に対する政策提言

2021年11月15日、私たち市民クラブは先に市が示した「浜松市戦略計画2022の基本方針」並びに「令和4年度予算の編成方針」を受けウイズコロナを前提に来年度予算をどうやって使っていくべきか? について会派の考えをまとめた「提言書」を鈴木市長に提出しました。漠然とした提言ではなく「具体的で分かりやすい提案」があるべきと考えることから、詳細まで踏み込み、67項目にも及ぶ提言となりました。その主な項目をご紹介します。

カーボンニュートラルへの取り組み

カーボンニュートラルへの取り組みを強化し確実な推進に繋げるべく、環境・エネルギー・工業・農林水産・調達など、関係する多くの部門に横ぐしを刺す役割として、新たに「カーボンニュートラル推進事業本部」設置すること。 **R4年4月に設置決定**

ごみ減量への取り組み

ごみ減量手段としてに答申された家庭ごみ回収有料化は市民生活への大きな影響とともに、本市の体制や回収業者にも影響を及ぼす。有料化にあたっては今一度3Rを徹底の上、本市や回収業者の体制整備とともに、市民理解を深めつつ実行すること。

エネルギー政策への取り組み

浜松市域RE100(市内全てを再生可能電力で賄うこと)実現に重要な風力発電については、天竜区での発電所建設計画の中止などがあり2030年に52万MWh、2050年に120万MWhとした計画の目標達成は困難な状況となっている。計画達成の為に事業者と住民をつなぐコーディネーターを配置するなど相互理解を進めること。

外国籍児童の教育と教職員の負担軽減への取り組み

外国籍児童増加と多国籍化対応として小中学校にポケットブック(小型翻訳機)が配備されていても精神面の支援には不十分な状況。支援員の育成プログラム整備と処遇改善により、早急に就学支援員、及びサポーターの増を図り、不就学ゼロ体制の維持と教職員負担の軽減に繋げること。

ユニバーサルデザインへの取り組み

本市は平成15年の浜松市ユニバーサルデザイン条例の施行以降も、SDGs未来都市認定を経て誰一人取り残さない社会の実現を目指してきているが、現在はさらにインクルーシブ社会(障がい・性別・年齢・宗教・国籍などが異なる全ての方が「ありのままの状態」で社会に存在する)ができる社会の実現が求められてきている。よって本市ユニバーサルデザイン推進にインクルーシブを加え、その研究を行うプロジェクトチームを設置すること。

